

令和5年度 小学校「理科」観察・実験研修 実施要項

- 1 目的 電気分野についての理解を深めるとともに、児童のプログラミング的思考の育成につながる授業を展開する指導力の育成を図る。
- 2 対象 小学校、義務教育学校、府立支援学校小学部の教員

募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	10月20日(金) 14:00~17:00	プログラミング的思考を育成する電気の学習 —身の回りの電気製品を題材としたプログラミング教育— [講義・実習]	日本電機工業会 講師 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
- 6 担当室 小中学校教育推進室

1 目的

電気分野についての理解を深めるとともに、児童のプログラミング的思考の育成につながる授業を展開する指導力の育成を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	プログラミング的思考を育成する電気の学習 —身の回りの電気製品を題材としたプログラミング教育—	児童のプログラミング的思考の育成につながる授業を展開する指導力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 炊飯器の温度変化を、電池と電熱線を使用して再現する実験を通して、炊飯器には様々なプログラムが働いていることを理解する。 実験手順を言語化して振り返ることで、これらがプログラムとして電気製品に組み込まれており、センサーとプログラムの働きによって、電気を制御していることを理解する。 	